

県政に求める 3つの改革

昨年、残念なことで話題になった兵庫県議会。中西レオは大きく3つの役割りをこれからの県議会に求めたいと考えます。

●広い視点で教育・産業振興

明石市立の小中学校でも、教員の人事権は兵庫県にあります。大阪府で事例があるように、東播地区や東・北播磨地区へ権限移譲することで、現場や保護者に近い教育行政ができます。

雇用や国際競争、起業支援などは、広域で大規模に取り組むことが必要です。人材育成では国も関わる省庁が多く、市町よりも県による取り組みが鍵を握ります。

●脱政党で県議会改革

～党の人は先輩議員を追求できない？～

号泣会見が注目されましたが、その後ベテラン議員から発覚した切手の大量購入、領収書の偽造、夫婦で旅行など、数多くの不透明支出に対し、政党の議員は先輩議員を追求できませんでした。地方議会に政党は要りません。

●新しい議員スタイルづくり

「県議会って何してるの?」「県会議員は要らないのじゃないか」「兵庫県の住民という自覚がない」という意見をいただきます。

月額50万円(現在45万円)の政務活動費がありながら、活動内容を伝えられないのなら、役割を果たしたとは言えません。

住民の意見を反映できる“時代に合ったスタイル”の県議会議員が必要です。

あるべき姿、実践中!

- 議会改革において率先して以下の項目に取り組みました。
 - 定例会毎の一般質問(年4回の旧定例議会)
 - 重要議案の賛否公開
 - 政務活動費の支出公開
 - 毎月の市政報告会
 - 活動報告チラシを自費で5万部×年4回作成・配布(明石市は12万世帯)
 - 学生インターンの受入れ
 - 若手議員による政策討論会
 - インターネットでの報告会配信
- これらの取り組みは市外でも高く評価され、市内の議員にも大きな影響を与えました。今後、これ以上の活動と新しいアイデアを展開します。

月イチ! 報告会

予約不要、直接現地へお越しください。

● 2月28日(土曜日)

時間 14:00~15:30

場所 生涯学習センター学習室1A
(アスパア明石7階)

テーマ どうなる?市長選・市議選・県議選

● 3月29日(日曜日)

時間 19:00~20:00

場所 男女共同参画センター会議室
(アスパア明石7階)

テーマ 決戦に向けて



ゆっくり急いで日々発見 子育て日記「一蓮成長」

ついに長男の蓮(6歳)が小学校に入ります!仕事から、卒業式・卒園式に毎年たくさん参加しますが、親としては初めての卒園式が控えています。はたして感動で泣いちゃったりするのでしょうか。

証書授与の際、園児による保護者へのコメントや、「おかあさん♪なかに♪ありがと〜お〜♪」の歌あたりが涙腺ポイントです、要注意。

来賓で座っていても泣きそうになるのに、保護者として座ったら、到底耐えられない気がします。家では蓮がランドセルを背負った姿を見たときに、「ほー、おっきくなったんだねえ」と、目が潤みました。意外に入学式が要注意かも。

まー、いろいろ想定しても、保護者席に座るのは妻であって、夫は撮影係でそれどころじゃないかもしれませんが。



中西レオ(礼皇)プロフィール

- 1979年8月17日 神戸市生まれ(35歳) O型 しし座
 - 1998年 神戸学院大学法学部法律学科入学
在学中にビジネスプランコンテストで入賞
 - 2002年 同大学卒業後バイクイベントコンサルティング「アイラブバイク」設立
同年たこフェリー乗り場にてたこ焼き屋を開店
 - 2003年 選挙の事務局を経験し政治の重要性和、時代に合った政治家の必要性を強く感じる
 - 2004年 まちづくり会社の社長に就任、たこフェリー乗り場にレストランたこた亭開店、毎月のジャズライブが好評
 - 2007年4月 27歳で明石市議選に出馬、2873票を得て当選
 - 2010年 全国若手政治家サミット并論大会に出場、敢闘賞を獲得
 - 2011年4月 4895票を得て2期目当選
 - 2012年11月 第7回マニフェスト大賞 優秀コミュニケーション賞を獲得
- 家族構成:妻と三人の息子(6歳・4歳・1歳)
趣味:家庭菜園、ホームパーティー 特技:餅つき

発行:中西レオ応援団 ✉:reo@nakanishireo.com

〒673-0844 明石市東野町1970-4 電話/FAX(078)914-0639

いつもレオナンデス通信をご覧いただきありがとうございます。二〇一五年は大変な寒さで始まりました。春には四年に一度の嵐が吹き荒れます。ありがたいことに「次は大丈夫でしょ」と言われますが、そんなに簡単なものではありません。組織や団体におもねる必要がない代わりに、安定した組織票はありません。未来のために、明石を想う人々の代わりに戦います。

任期の終わりに、私が政治家として、また、人として常に側に置いている言葉を紹介します。

- 「人は城、人は石垣、人は堀、情けは味方、仇は敵なり」教育、読書、職員研修、起業家育成といった人を大事にする政策を提案してきました。
- 「動機善なりや、私心なかりしか」特に政治家となつてからは繰り返し返した言葉。政策立案や採決に際しての基本です。

「諸行無常」視点を高くするときと思う言葉。万物は流転するものであり、固定観念や願望を捨て、自分の認識を改める際に役立ちます。今後、これらの戒めを大事にして、市民のため、世の中のために働きます。今後ともご支援やご意見をいただきますようお願いいたします。

中西 礼皇